

日本の地域的特色と地域区分(1)ー地形・気候ー

学習 山がちな日本

- 地球上には、山脈や島々が連なっていて、地震の震源や火山が帯状に分布する所があります。こうした場所は、**変動帯**とよばれます。変動帯でない多くの地域は、長年の風化や侵食によって平らな地形になっています。
- 環太平洋地域の変動帯に位置する日本列島は、陸地の約4分の3が山地や丘陵で、多くの火山があります。
- 本州の中央部にある飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈は日本アルプスとよばれます。日本アルプスの西側ではなだらかな山地が東西方向に連なり、平野は多くありません。九州には多くの火山が見られます。フォッサマグナの東側では、高く険しい山脈が南北方向に連なり、多くの平野が広がっています。

用語 * フォッサマグナ…日本アルプスの東側の「大きな溝」。

学習 日本の川と平野、海岸と海

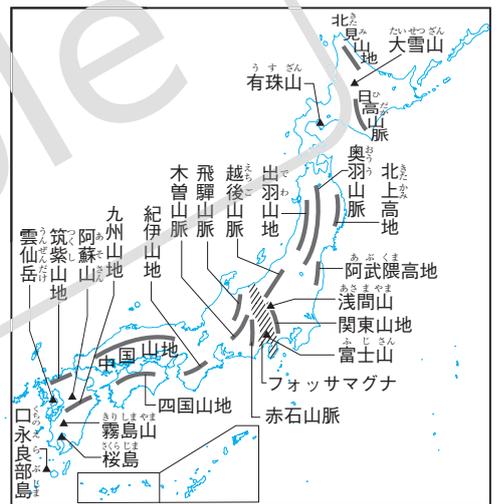
- 日本列島の川は傾斜が急で、**流域面積**がせまくなっています。短期間に大量の雨が降ることがある日本では、川の水量の変化が大きくなっています。ふだんは細い流れの川でも、大雨のときは河原や河川敷にも水が流れます。
- 河川の上流には、洪水の防止、水不足への備え、水力発電などのためにダムが多く造られています。
- 日本では、国土の約4分の1にあたる、海に面した平野と山に囲まれた**盆地**に人口の大部分が集まっています。
- 川が山間部から平地に流れ出る所に**扇状地**が、海や湖に流れこむところには**三角州**が見られます。また、海や川に沿った低い土地を低地、高い所に広がる平らな土地を**台地**といいます。
- 低地は水田、台地は畑に利用されることが多くなっています。扇状地は、長野盆地や甲府盆地では主に果樹園、東北地方や北陸ではかんがいによって主に水田に利用されています。
- 海岸には、岩場が切り立った**岩石海岸**や、長い砂浜が続く**砂浜海岸**がありますが、現在はコンクリートによる護岸がほどこされた

▼世界の主な火山と地震の震源地の分布

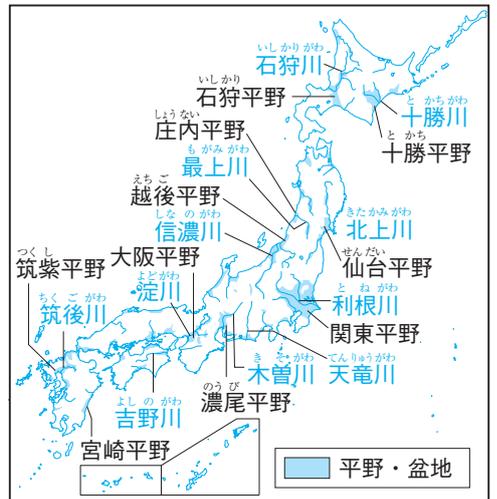


※プレートとは、地球の表面をおおう硬い岩板のことです。プレートは、1年間に数cmほどの速さで動いており、プレートどうしがぶつかったり、ずれ動いたりしています。

▼日本の主な山地・山脈・火山



▼日本の主な川と平野・盆地



人工海岸が多くなっています。砂浜海岸には、砂が積もってできた砂丘が発達している所があります。三陸海岸や志摩半島などには、湾と岬が連続するリアス海岸が続いています。

- 日本列島の東の太平洋には水深が8000m以上の海溝があり、周囲には水深が約200mまでの平坦な大陸棚が広がっています。
- 東日本の太平洋の沖合いには、暖流の黒潮〔日本海流〕と寒流の親潮〔千島海流〕がぶつかる潮境があり、豊かな漁場となっています。また、日本海の沖合いでは、黒潮から分かれた暖流の対馬海流が北上し、寒流のリマン海流が南下しています。

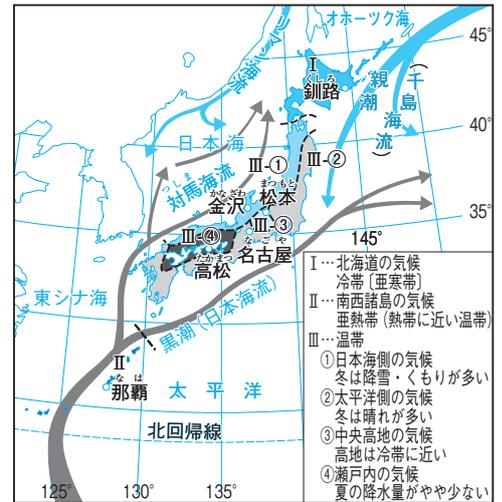
学習 日本の気候

- 温帯の気候区には、地中海性気候や西岸海洋性気候がありますが、日本列島の大部分は温暖湿潤気候に属します。これは主に大陸の東岸で見られ、特に四季がはっきりしていて、一年間の降水量や気温の変化が大きい気候区です。
- 夏は太平洋側から、冬は日本海側から季節風〔モンスーン〕がふきます。また、東アジアでは梅雨という雨が多い時期があり、夏から秋にかけての台風や熱帯低気圧が風水害をもたらします。
- 南北に長い日本列島は、地域による気候のちがいが見られます。
- 南西諸島の気候…一年を通して気温が高く、降水量が多いため、亜熱帯ともよばれています。沿岸にはさんご礁が見られます。
- 北海道の気候…冬の気温がかなり低い冷帯〔亜寒帯〕の気候です。一年を通して降水量が少なく、梅雨がありません。
- 日本海側の気候…シベリアの冷たい空気が季節風になり、日本海を流れる暖流の対馬海流の影響で水蒸気を大量にふくんで、冬の日本海側の地域に雨や雪を降らせず。
- 太平洋側の気候…冬は乾燥した風がふき、よく晴れます。
- 瀬戸内の気候…冬は中国山地に、夏は四国山地にさえぎられて、海からの水蒸気が届きにくいいため、降水量が少なくなっています。夏は干ばつがよく起こるので、古くからため池を造って、農業に使う水を確保してきました。
- 中央高地の気候…山に囲まれた標高の高い土地のため、一年を通して気温が低く、降水量が少なくなっています。昼と夜、夏と冬の気温差が大きいという特徴があります。

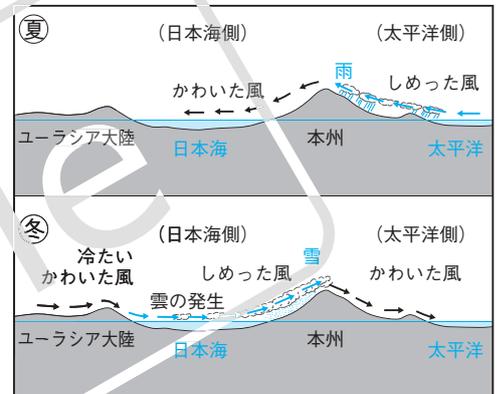
用語 * 地中海性気候…夏は乾燥し、冬に降水がある気候区。

* 西岸海洋性気候…高緯度のわりに冬が暖かく、一年を通して降水がある気候区。

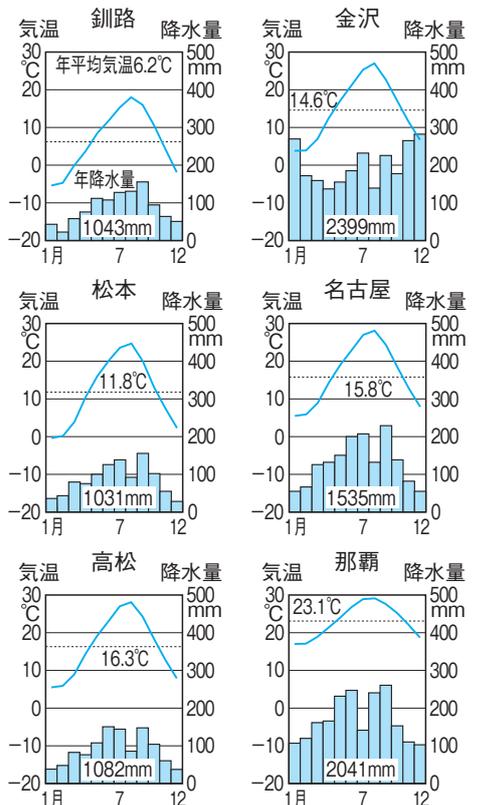
▼日本の気候区分



▼降水量の季節変化が起こるしくみ



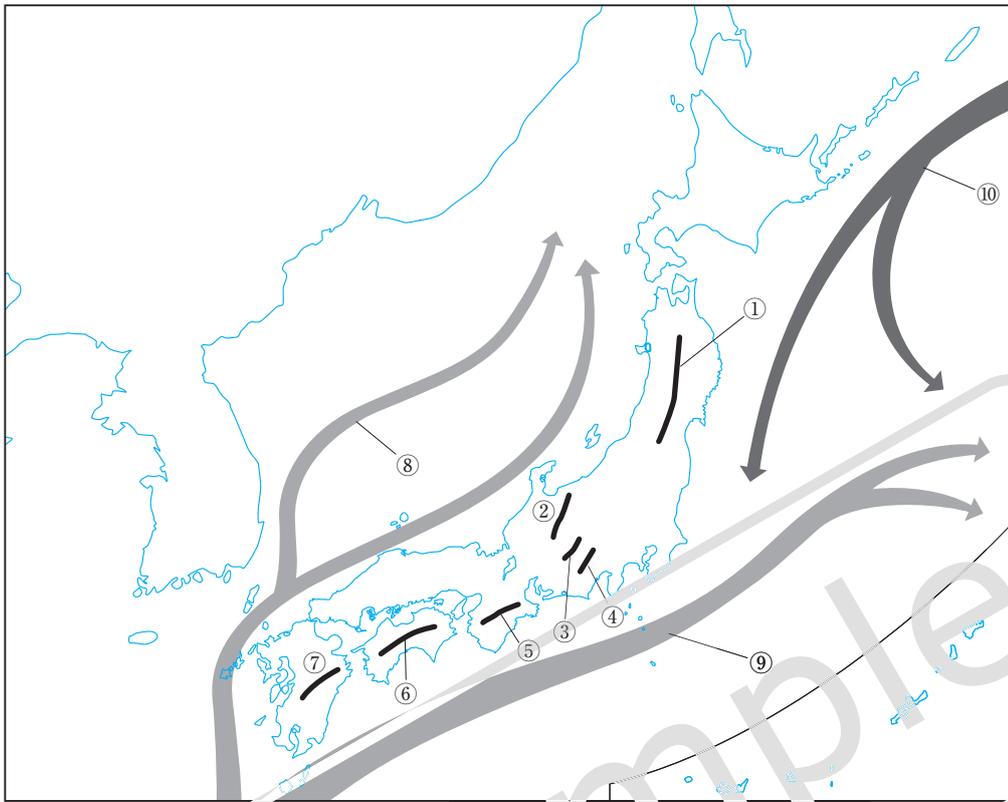
▼主な都市の雨温図



(2020年版「理科年表」)

確認問題

1 ●図表で理解を深めよう● 次の地図の①～⑩にあてはまる山脈・山地・海流名を書きなさい。



- ① [山脈]
- ② [山脈]
- ③ [山脈]
- ④ [山脈]
- ⑤ [山地]
- ⑥ [山地]
- ⑦ [山地]
- ⑧ []
- ⑨ []
- ⑩ []

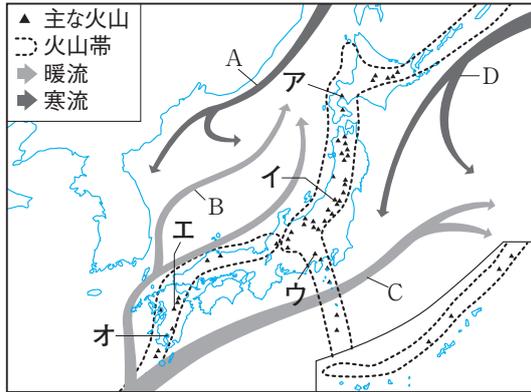
2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) 環太平洋地域や、アルプス山脈からヒマラヤ山脈へ連なる地域には、地震の震源や火山が帯のように分布している。このような場所を何というか。 []
- (2) 風雨や川の流れなどによって大地がけずられる作用を何というか。 []
- (3) 日本アルプスの東側に位置する、ラテン語で「大きな溝」という意味を持つ場所を何というか。 []
- (4) 川が水を集める範囲の面積を何というか。 []
- (5) 川が山間部から平地に流れ出る所に、土砂がたまってできた扇形の地形を何というか。 []
- (6) 砂浜海岸に見られる、風で運ばれてきた砂が積もってできた地形を何というか。 []
- (7) 東日本の太平洋の沖合いから、伊豆諸島や小笠原諸島の東側に続く海底は、深さが8000mをこえている。このような地形を何というか。 []
- (8) 温帯の三つの気候区のうち、日本列島の広い範囲が属しているものを何というか。 []
- (9) 温帯の三つの気候区のうち、高緯度のわりに冬が暖かく、一年を通して降水が見られるものを何というか。 []
- (10) 東アジアに見られる、降水量が多くなる時期を何というか。 []

基本問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

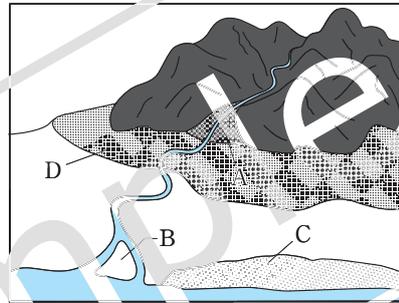
- (1) 地図中のA～Dから、①黒潮、②親潮をそれぞれ選べ。
- (2) 次の①～③の火山は、地図中のア～オのどれか。1つずつ選べ。
- ① 富士山 □② 阿蘇山
□③ 有珠山
- (3) 地形の面で、日本列島の東西の境界になっているのは、日本アルプスと何か。
- (4) 日本列島が位置している変動帯は、どの海洋を取り囲んでいるか。



1	(1)	①	
		②	
2	(2)	①	
		②	
		③	
	(3)		
	(4)		

2 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

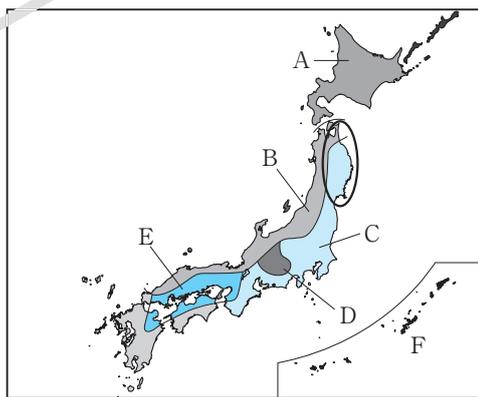
- (1) 図中のA・Bの地形の名前を、次のア～エから1つずつ選べ。
- ア 扇状地 イ カルデラ
ウ 三角州 エ リアス海岸
- (2) 山で囲まれた内陸部にある平地を何というか。
- (3) 図中のCは砂浜海岸で見られ、海からの風によって砂が運ばれ堆積した地形であるが、これを何というか。
- (4) 図中のDは平地の中でもいちだん高く、畑などがよくつくられるが、この地形を何というか。



2	(1)	A	
		B	
	(2)		
	(3)		
	(4)		

3 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のA～Fにあたる地域の気候の特徴を、次のア～カから1つずつ選べ。
- ア 冬は晴天の日が多い。
イ 年間を通じて、降水量が少ない。
ウ 梅雨がなく降水量が少ない。冬の気温が低い。
エ 夏と冬、昼と夜の気温差が大きい。
オ 冬は降雪・曇りが多い。
カ 一年中気温が高く、降水量が多い。
- (2) 地図中のA・Fの気候帯名を、それぞれ答えよ。
- (3) 冬に季節風がふいてくるのは、何という海の側からか。答えよ。
- (4) 夏から秋にかけて赤道の北側で発生した熱帯低気圧が発達したもので、日本に接近・通過して大きな風水害を起こすものは何か。

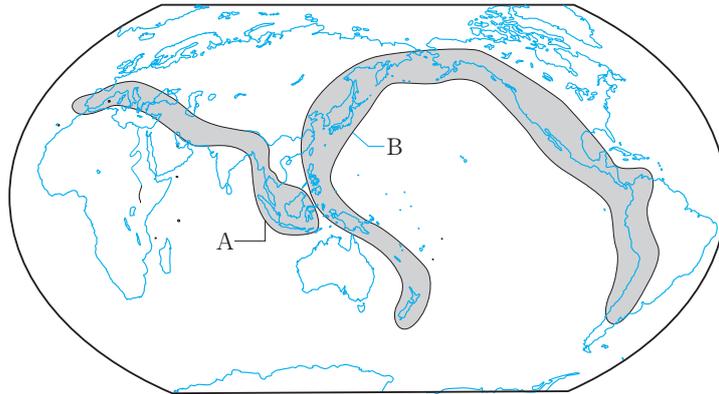


3	(1)	A	B
		C	D
		E	F
	(2)	A	
		F	
	(3)		側
	(4)		

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中にA・Bで示されているのは、何を表したのか。
- (2) (1)以外の地域の多くでは、数億年にわたる風雨や温度変化などの影響で岩や石がもろくなっている。このことを何というか。



1

(1)	
(2)	

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 日本の国土のうち、山地と丘陵地のしめる割合を、次のア～エから1つ選べ。

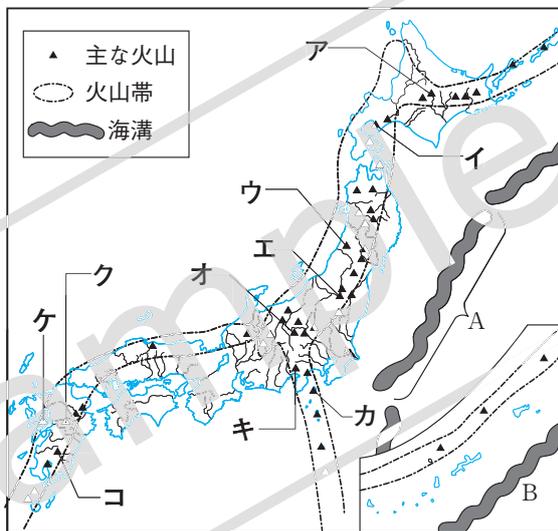
ア 約3分の1 イ 約3分の2
ウ 約4分の3 エ 約4分の1

- (2) 地図中のA・Bの海溝の名を、次のア～エから1つずつ選べ。

ア 千島・カムチャツカ海溝
イ 日本海溝
ウ 伊豆・小笠原海溝
エ 南西諸島海溝

- (3) 次の①～④の火山を、地図中のア～コから1つずつ選べ。

□① 浅間山 □② 雲仙岳 □③ 大雪山 □④ 霧島山



2

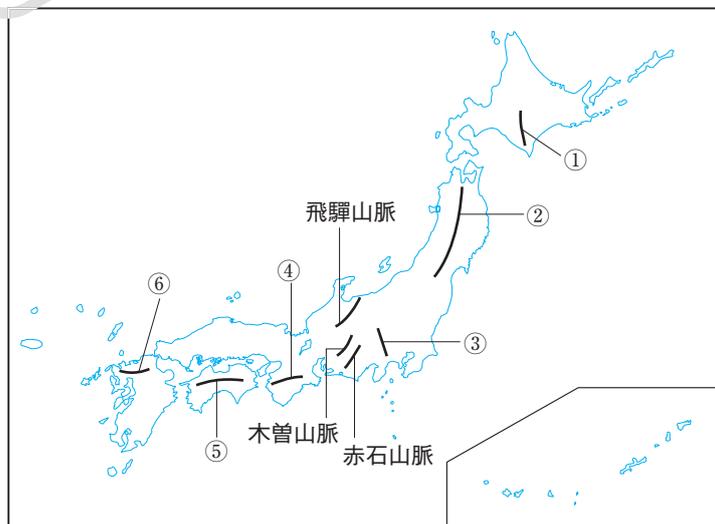
(1)	
(2)	A
	B
(3)	①
	②
	③
	④

3 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中の①～⑥の山地・山脈名を、次のア～カから1つずつ選べ。

ア 関東山地
イ 奥羽山脈
ウ 四国山地
エ 日高山脈
オ 紀伊山地
カ 筑紫山地

- (2) 地図中の飛驒・木曾・赤石の3つの山脈をまとめて、何とよんでいるか。



3

(1)	①
	②
	③
	④
	⑤
	⑥
(2)	

4 次の問いに答えなさい。

- (1) 右の写真は三重県・志摩半島の海岸である。このように海岸線の出入りが多く、複雑な海岸を何というか。
- (2) (1)と異なり、海岸線の出入りの少ない砂の海岸を何というか。
- (3) (2)の海岸で見られる、砂が積もってつくられた地形を何というか。
- (4) 水深が約200mまでの、浅く平らな海底を何というか。
- (5) 日本の太平洋側を流れる、①暖流、②寒流の名を、次のア～エから1つずつ選べ。
ア 千島海流 イ 対馬海流 ウ 日本海流 エ リマン海流



4

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	①
	②

5 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 長い間の大変動によって、隆起した部分が山地となり、沈んだ部分に河川の運んだ土砂がたまって①や②の地形がつくられる。川が山間部から平地に出た付近では、大きな砂利などから成る③が、河口部には細かい砂や泥から成る④ができる。
- (1) ①・②には、それぞれ、①海側にある平地、②山に囲まれた内陸の平地を表す語句が入る。あてはまる語句を書け。
- (2) ③・④にあてはまる語句を書け。
- (3) ③は、水はけがよいために、あるものに利用されているところが多い。あてはまるものを、次のア～エから1つ選べ。

ア 畑 イ 桑畑 ウ 茶畑 エ 果樹園

- (4) **表現力** 文中の下線部について、右のグラフを見て、日本の河川について世界の河川と比べて言えることを、「長さ」「傾斜」という語句を使って簡単に書け。

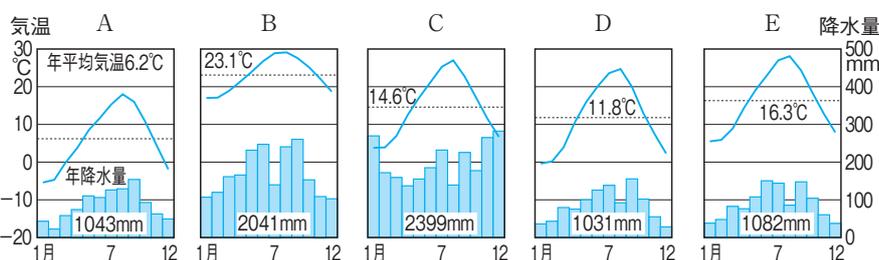
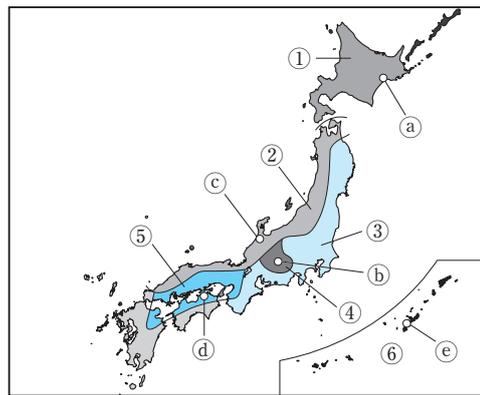


5

(1)	①
	②
(2)	③
	④
(3)	
(4)	

6 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中の①～⑥の気候名を、次のア～カから1つずつ選べ。
- ア 日本海側の気候 イ 瀬戸内の気候
ウ 太平洋側の気候 エ 北海道の気候
オ 南西諸島の気候
カ 中央高地の気候
- (2) 次のA～Eの気温と降水量のグラフは、それぞれの都市のものか。地図中の①～⑥から1つずつ選べ。



(2020年版「理科年表」)

6

(1)	①	②
	③	④
	⑤	⑥
(2)	A	
	B	
	C	
	D	
	E	